

# 平成30年度 第2回 宇都宮市冒険活動運営協議会次第

日 時 平成30年12月7日(金) 9:30～11:00  
会 場 宇都宮市冒険活動センター 会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

(1) 報告事項

- ・平成30年度事業経過報告について

(2) 協議事項

- ・平成31年度事業計画(案)について

(3) その他

4 閉 会

## 平成30年度 宇都宮市冒険活動運営協議会委員名簿

NO	区 分	委員名	団体名等
1	学校教育関係	狐塚 章一	宇都宮市小学校長会
2		小堀 茂雄	宇都宮市中学校長会
3	社会教育関係	池田 誠	宇都宮市PTA連合会
4		五十嵐 市郎	宇都宮市子ども会連合会
5		櫻井 政義	宇都宮市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会
6		北條 成男	宇都宮市レクリエーション協会
7		月橋 春美	栃木県キャンプ協会
8	学識経験者	黒後 洋	宇都宮大学
9		平野 勝	篠井地区ゆたかなまちづくり協議会
10		伊澤 文彦	栃木県林業センター
11		坂内 剛至	有限会社ネイチャープラネット
12	公募	佐藤 奈美子	子どもの家指導員
13		宇賀神 光夫	無職

## 平成 30 年度事業経過報告

### 冒険活動事業の考え方

里山の豊かな自然のなかでの冒険活動・自然体験活動を通して

- ・子どもたちが主体的に取り組み、それぞれにともなう様々な困難や課題を克服し、感動や達成感を味わい、自ら問題を解決する能力を養うとともに、人間力や豊かな心をはぐくむ。
- ・自然に親しみ、理解を深めるとともに、人と人とのふれあいにより社会性や人間性の向上を図る。

#### ア 学校受入事業

進捗状況 A：計画通り実施及び進行中 B：一部計画を変更して実施 C：未実施

#### 平成 30 年度具体目標 (◇)・具体策 (○)・重点課題 (◎)

##### ◇ねらいに迫る冒険活動教室の実施

【別紙 1】『平成 30 年度学校利用計画』参照

【別紙 2】『平成 30 年度保健室利用状況』参照

【別紙 4】『平成 30 年度主催事業一覧』参照

○指導者研修会の充実	A	【小学校・地域学校園】 ・実施時期に合わせて、年 6 回指導者研修会を実施。 ・児童の実態や先生方の思いを把握し、よりねらいに迫れる活動プログラムを提案、実施することができている。 ・第 6 回指導研では、キャンドルファイヤーの実施を想定し活動展開案を作成する演習を実施。
○事前・最終打ち合わせの充実	A	【中学校】 ・草案の段階と実施直前の 2 回学校を訪問。草案から、プログラム作成に関わるとともに、生徒の実態や活動内容・支援について共通理解を図り、より効果的に実施することができた。 【小学校】 ・不安なく実施できるよう、学校での保護者説明会への参加や引率教員、児童・生徒、保護者の下見に綿密に対応。
○ナイトプログラムの推進	A	キャンプファイヤー・キャンドルファイヤー・ナイトハイク 小学校 28 校 (41 校中)、中学校 25 校が実施 (25 校中) (11 月末現在)
○市内教職員を対象としたアクティビティ研修の充実	A	5/1 (火) 中学校実技研修会の実施 8/22 (火) 冒険活動アクティビティ研修の実施。 ・教職 5 年目、10 年目研修の選択活動にも該当。

※冒険活動教室の実施状況 (11 月末)

中学校 25 校中 25 校が実施済。 小学校 68 校中 40 校が実施済。

##### ◇小中一貫・地域学校園への対応研修会の充実

○地域学校園を基本に日程を組み、交流活動の推進を図る	A	・各校のねらいに合わせ、冒険活動教室における小中一貫や地域学校園を踏まえた交流活動の取り組みへの助言。
○研修会での小中・小小交流活動の紹介	A	・アイスブレイク、園内散策系ゲーム、ナイトプログラム、野外炊飯など、学校の実態に合わせて活動を紹介。

##### ◇調査研究の実施及び成果の提供

【別紙 3】『冒険活動教室が児童生徒の道徳性の変容に及ぼす効果』について (概要版) 参照

◎「体験活動が児童生徒の道徳性に与える影響」について	A	道徳の 4 つの視点の変容を冒険活動教室の事前、事後、1 か月後に測定。アンケートの分析結果を 11/20 の校長会で報告。
----------------------------	---	--

##### ○インターンシップの受入協力

○市内中学生の宮っ子チャレンジ	A	宇都宮市内中学校 2 年生 87 名が職場体験 (19 校)
○高校生インターンシップ	A	宇都宮商業高等学校 2 年生 3 名受入 (9/12～9/15)
○教員の社会体験研修	A	冒険キャンプでの教職 10 年目の教員 (1 名) の受入

## イ 主催事業

進捗状況 A：計画通り実施及び進行中 B：一部計画を変更して実施

### 平成 30 年度具体目標 (◇)・具体策 (○)・重点課題 (◎)

#### ◇魅力ある主催事業の展開

【別紙 4】『平成 30 年度 主催事業一覧』参照

◎一般公募事業の実施	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族ふれあいキャンプ 5/19 (土)～20 (日) 1泊2日 参加者 33組 63名</li> <li>・冒険キャンプ 8/8 (水)～10 (金) 2泊3日 参加者 46名 イニシアティブゲーム・キャンプファイヤー 野外炊飯・ネイチャーゲーム・流しそうめん</li> <li>・ちびっこキャンプ ① 8/25 (土) 日帰り ②9/15 (土)～16 (日) 参加者 24名 ① 仲間づくり・園内散策・ネイチャーゲーム ② アイスブレイク・野外炊飯・キャンプファイヤー・登山</li> <li>・もりであそぼう ～めざせ遊びの達人～ 12/2 (日) 日帰り 23名 園内散策・ぼうけん木のぼり・火おこし体験</li> <li>・森のレストラン ～つくって食べよう～ 1/13 (日) 日帰り 募集 12組 篠井の食材 (りんご・きのこ) を使った野外調理。</li> </ul>
------------	---	--

#### ◇施設の周知及び利用促進

○利用者のための研修会の実施	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6/10 (日) 参加者 5名 登山・ネイチャーゲーム・野外炊飯・杉板焼きなど</li> </ul>
○子どものもりフェスティバルの実施	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10/14 (日) 来園者約 1,400名 イベント協力 9団体</li> <li>・記者への発表, スーパーやショップへのポスター掲示依頼</li> <li>・南図書館との連携「森のおはなし会」を実施</li> </ul>
○冒険活動センターパネル展の開催	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3/13 (水)～17 (日) 宇都宮市立南図書館で開催予定。</li> <li>・最終日は, ネイチャークラフトを実施予定。</li> </ul>

#### ◇地域連携

○篠井地域との連携 (人材, 食材, 自然の活用)	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冒険キャンプでの, 大網用水組合の協力 田川・逆川で, カヌー・リバートレッキングを計画 (台風により中止)</li> <li>・子どものもりフェスティバルでの連携 うどん, 農産物の販売 (篠井地区まちづくり協議会) 竹馬・竹とんぼ・篠竹鉄砲の作成, 指導など (松寿会)</li> <li>・学校受入事業での連携 手ぶちうどんづくりの指導 (農産加工所, 若妻会) クラフト用の輪切り作製協力, 機械借用 (林業センター) スティックパン用竹の提供 (齋藤様)</li> <li>※9/9 (日) 篠井地区敬老会の会場として, レストランを利用</li> </ul>
○宇都宮大学との連携	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「野外教育」参加者 27名。</li> <li>・冒険キャンプでの指導の実践, 人材の提供。</li> </ul>

#### ◇指導者養成事業の充実

○自然体験活動指導者養成研修会の開催	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然体験活動指導者研修会 11/3 (土)～4 (日) 1泊2日 参加者 14名 内容: 対象者理解, 自然体験活動の特質・技術・安全管理, 認定試験など 活動: アドベンチャーゲーム, 登山, 野外炊飯, テント設営など</li> </ul>
○養成指導者の活用	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族キャンプ, ちびっこキャンプ, もりであそぼうで ボランティアの指導者として参加 (3名)</li> </ul>

ウ 一般受入事業

進捗状況 A：計画通り実施及び進行中 B：一部計画を変更して実施 C：実施の停滞

平成 30 年度具体目標 (◇)・具体策 (○)・重点課題 (◎)

◇利用促進

【別紙 5】『平成 30 年度一般利用状況 (4 月～10 月)』参照

○南図書館との連携事業 ・冒険活動センターパネル展	A	・冒険活動センターパネル展では、センターの施設、事業の案内などを写真などで紹介。最終日はネイチャークラフトの体験を実施予定。
○広報うつつのみや、市 HP への情報の提供	A	・広報うつつのみや (休館日、主催事業募集情報など) ・市 HP への情報 休館日、主催事業募集情報センター施設案内、アクティビティの紹介
○新聞、テレビなどのメディアへの情報提供	A	・主催事業募集情報、実施状況 ・新聞、テレビへの情報の提供

◇公園内の設備の充実・安全管理

◎安全マニュアルの見直し 安全点検の充実	A	・安全マニュアルの見直し ・危機管理マニュアル ・食中毒対応マニュアル ・活動支援マニュアル ・災害時避難経路、土砂災害、防火計画 ・応急処置 ・定例施設安全点検 (月 1 回) ・活動前の道具の安全点検、活動場所周辺の樹木の点検 ・放射線量の測定 (月 1 回) と HP での公開
○園内設備更新	A	・ロッジ B 棟デッキ・階段手すり、床板整備工事完了 (業者) ・園路橋梁掛替 (森林組合) ・常設テント外張り更新 (3 張)
○園内環境整備	A	・第 2 駐車場の整備と活用 ・駐車ライン引き作業 ・臨時駐車場としてフェスティバルで活用 ・マウンテンバイクの活動場所として活用 ・登山道進入禁止の表示、地図の配布、HP での周知。 国有林伐採ため、一部入山禁止 (榛名山周辺) (H30 年夏～H32 年 11 月まで) ・飯盛山登山道の整備、木の伐採 (台風の被害による倒木等) ・常設テント破損修理 (外張り破れ・ファスナー等) ・あずま屋下樹木伐採 (眺望確保のため) ・あずま屋までの階段補修 ・各ロッジの排水管塗装 ・スズメバチや巣の駆除 (業者・職員) ・イノシシの目撃情報の共有、利用者への情報提供 ・登山位置確認のための、ナンバリング (位置番号) の実施

◇サービス (おもてなし) の充実

【別紙 6】『平成 30 年度リーダーバンク実施状況』参照

○事前打合せ、下見、活動紹介の充実	A	・利用者の意図に沿った情報提供及び相談の実施 ・下見の際に園内施設の案内 ・HP に、来園する際のカーナビ設定の注意喚起を掲載。
○入所、炊飯場利用時のオリエンテーションの対応	A	・入所時のオリエンテーションの実施 (希望制：子供会やスボ少などの団体への紙芝居での説明) ・炊飯時のかまどや薪の使い方の説明 (使用者すべて)
○リーダーバンク事業の紹介	A	・イニシアティブゲームとネイチャーゲームでの指導員の派遣 団体との相談により、別活動でも実施。 22 団体 1,127 人に対して、122 名の指導員を紹介
○レストランとの連携	A	・アレルギー代替食希望への対応

◆具体目標（◇）・具体策（○）・重点課題（◎）

【別紙 7】『平成 31 年度学校利用計画』参照

ア 学校受入事業

◎ねらいに迫る冒険活動教室の実施	○小学校・中学校との連絡・相談の充実 【中学校】各校を訪問し、学年会等でねらいに迫るプログラムの相談 【小学校】研修会において、職員と教員とで事前調査用紙をもとに、学校のねらいに迫るプログラムの作成 出前授業・保護者説明会等への参加の推進 ○冒険活動教室事前・事後用指導用ワークシートの開発 ○小学生・中学生対象の新アクティビティの開発と準備
◇研修会の充実	○引率者対象の指導者研修会の充実 ○市内教職員を対象とした自然体験活動研修会の開催 ○栃木県小学校教育研究会特別活動部会との連携
◇調査研究の実施及び成果の提供	○「体験活動が児童生徒の道徳性に与える影響について」【継続】 道徳の 4 つの視点の変容を、冒険活動教室の事前、事後、1 か月後に測定する。併せて教員対象のアンケートを事後に行い集計する。 ○アンケート結果の検証・公表
◇インターンシップ等の受入協力	○中学生の宮っ子チャレンジ ○高校生、大学生のインターンシップ ○教職 5 年目、10 年目研修

【重点事項】

◎ねらいに迫る冒険活動教室の実施

○「冒険活動教室、実施前・実施後の指導用ワークシートの開発」

- ・冒険活動教室事前・事後指導用ワークシートを開発し、活用を推進することで、冒険活動教室の趣旨を理解し、目的の達成・定着を図る。

冒険活動教室の趣旨・目的

「里山の自然の中で、子どもたちがゆとりある体験活動に主体的に取り組み、それにともなうさまざまな困難を克服し、感動や成功感を味わい、自ら問題を解決する能力を養うとともに、豊かな心をはぐくむ。」

○「小学生・中学生対象の新アクティビティの開発と準備」

- ・冒険活動アクティビティ（活動）に、小学校向けと中学校向けの新アクティビティを開発・準備することで、児童・生徒の活動への意欲を高める。



新アクティビティは、小学校向け活動 1 つ、中学校向け活動 1 つを開発する。

◇「研修会の充実」

- 栃木県小学校教育研究会宇都宮支部特別活動部会との連携を協議中。

イ 主催事業

◎魅力ある主催事業の展開	○一般公募事業における企画立案の工夫 ・家族ふれあいキャンプ ・冒険キャンプ ・ちびっこキャンプ ・もりであそぼう ・子どものもりフェスティバル
◇施設の周知及び利用促進	○子どものもりフェスティバルの実施・工夫 ○南図書館との連携 ・パネル展の開催（ネイチャークラフト体験） ・相互イベントでの職員の派遣協力
◇地域連携	○篠井地域との連携（人材，食材，自然の活用） ・学校受入（手ぶちうどん，活動資材の提供等） ・まちづくり協議会や各種団体との協力（フェスティバルなど） ・下野三楽園との連携事業の検討
◇指導者養成事業の充実	○宇都宮大学との連携（野外教育） ○養成指導者の活用（NEAL研受講者）主催事業への協力依頼

【重点事項】

◎魅力ある主催事業の展開

○「一般公募事業における企画立案の工夫」

・冒険キャンプにおける実施内容の検討と工夫

- ・新しいフィールドの検討（篠井地区・大谷地区など）
- ・新しい活動の検討

・子どものもりフェスティバルにおける実施内容の検討と工夫

（各種団体との連携拡大）

- ・平成30年度：自衛隊栃木地方協力本部宇都宮分室に協力依頼（組み紐づくり）
- ・平成31年度：アウトドア関連企業などへも協力依頼（青年層へのPR）

・利用者のための研修会の事業廃止

（事業廃止の理由）

- ・参加者数の減少（今年度5名。H29年度は23名。年々減少している。）
- ・各団体へのセンターの利用方法が浸透している。

（今後の対応）

- ・各団体の要望日時に合わせて，随時プログラム相談と園内案内を実施していく。

・森のレストランの事業廃止

（事業廃止の理由）

- ・参加を想定していたターゲット層（青年グループ）の利用がない。

（今後の対応）

- ・子どものもりフェスティバルでの青年層の参加促進
- ・アウトドア関連の展示ブースの新設等

◇「地域連携」

・下野三楽園との連携事業の検討

一般家庭の子ども達より，自然体験活動が少ないと思われる下野三楽園の子ども達に，自然体験活動の機会を与え，豊かな心をはぐくむ一助とする。

(今後の検討)

下野三楽園の子ども達が，冒険活動センターで活動する際に，冒険センター職員が活動の協力・支援をする。(登山や野外炊飯など)

ウ 一般受入事業

◇施設広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>○南図書館パネル展でのPR</li> <li>○市ホームページでの情報の提供，広報誌，メディアなどの活用</li> </ul>
◎公園内の整備の充実・安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○安全マニュアルの見直し，安全点検の充実</li> <li>○園内環境整備             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロジA棟のデッキ，手すり及び階段修繕工事，</li> <li>・常設テントの外張更新</li> <li>・樹木の整備・伐採，危険箇所の修繕</li> </ul> </li> </ul>
◇サービス（おもてなし）の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事前打合せ，下見，活動紹介の充実</li> <li>○入所，炊飯場利用時のオリエンテーションの対応</li> <li>○リーダーバンク事業の紹介</li> <li>○利用者アンケートの活用 HPの有効活用</li> <li>○レストランとの連携 アレルギー関係への対応</li> </ul>

【重点事項】

◎公園内の整備の充実・安全管理

○園内環境整備

- ・ロジA棟の改修（H29年度から3年計画。H31年度は3年目）
  - H31年度はロジA棟が対象。H29・30年度に，ロジC棟とB棟は改修済。
- ・常設テントの外張の新規購入。(H29年度から5年計画。H31年度は3年目。)
  - H30年度までに常設テント外張15張中6張更新済。H31年度に3張購入予定。

○樹木の整備・伐採，危険箇所の修繕

- ・園内の樹木の状態を点検し，朽ちている樹木や傾いていて倒木の恐れがある樹木など安全上問題があれば伐採し，園内の樹木の適切な管理に努める。